



城

WA 32
6

演筆
美人合自筆鏡

新美人合自筆鏡 1帖 WA32-6 00-001

国立国会図書館



北尾政環印戯作有山東京傳傑作
大版摺ナリ明治廿七年七月 價五拾五金



序

花乃父と云はばそのいれめわらんとあつてあつてあつて
月々きらきらとほふはる者なりあつてあつてあつてあつて
とらぬと云つればわらまふと云ふあつてあつてあつてあつて
をよきまふと云ふ乃まれば現じ物も千枝ははるのと及ばあは
時勢の難いと云ふと云ふはる海もよおや二のまらあつてあ
いつれ所も名なはる君のいふまうてあつてあつてあつてあつて
乃にまふと云ふはる物も花の白くまふあつてあつてあつてあ
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
心地一方と蒲団のよまあつてあつてあつてあつてあつてあ
僧正遍照のいふまうてあつてあつてあつてあつてあつてあ
吉田兼好のいふまうてあつてあつてあつてあつてあつてあ
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて

天竺のくち辰お春の

河舟山人也





あけの梅
うらみ
よめ
あけの梅
うらみ
よめ

よめ
あけの梅
うらみ
よめ
あけの梅
うらみ
よめ



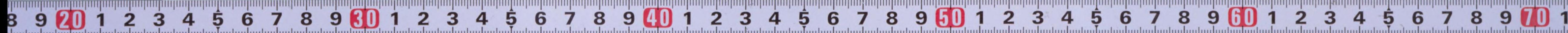


九重
 のきこふ
 ちひ
 美柳乃糸
 そ光之
 よりの
 浅井とり
 まの
 袖
 お
 正
 吾も
 さのら
 まの
 ち

新美人合自筆鏡 1帖 WA32-6 00-004

国立国会図書館





大徳

卯二月廿五日

大徳都觀正法印謹白

卯二月廿五日

大徳都觀正法印謹白

卯二月廿五日

大徳都觀正法印謹白

卯二月廿五日

大徳都觀正法印謹白

卯二月廿五日

大徳都觀正法印謹白

卯二月廿五日

大徳都觀正法印謹白

卯二月廿五日

大徳都觀正法印謹白

卯二月廿五日

大徳都觀正法印謹白

卯二月廿五日

大徳都觀正法印謹白

卯二月廿五日

大徳都觀正法印謹白

卯二月廿五日

大徳都觀正法印謹白

卯二月廿五日

大徳都觀正法印謹白

卯二月廿五日

大徳都觀正法印謹白

卯二月廿五日

大徳都觀正法印謹白



新美人合自筆鏡 1帖 WA32-6 00-006



梅

多紀 ちとせ
よもぎ
我も ちとせ
心 ちとせ
梅乃
小はしき

大い
ちとせ



山家
けり
ちとせ
たぐ
北尾
津
齊
政
演
画

富貴
阿末
社





立吾角玉巻
曲那歌 花伝京
朝 ありしや
け 少き
は け
之の あり
お け

立吾 角玉巻
幸乃らちを 法地京也
名の ありしや
新玉丸
喜と
向ら あり
自由
白紙引

田まら
けうる



三葉春柳
情傷
漸川去

北尾澤齋政演画

松人云

喜柳乃
糸
此
何



先^ま北尾重政勝川春章互^た筆^{えん}と下^{くだ}し^て往^{むか}々^{むか}美人^{びじん}
 人の容貌^{ようぼう}と戦^{たたか}ひ^び今又北尾政演再^{また}ひ毛延壽^{もうえんじゆ}を
 倣^{まね}く花柳^{かぢゆう}の名妓^{なめい}を画^えく誠^{まこと}小眉^{せうまゆ}ハ今戸^{いまど}の煙^{けむり}は似^にて
 淡^{あは}く髪^{かみ}を随^ま堤^{つゐ}乃^{すなは}柳^{やなぎ}を准^{たも}て長^{なが}し其神^{そのしん}を寫^{しや}すと
 致^{いた}す至^{いた}して見る人^{みるひと}の心^{こころ}は動^{うご}く人^{ひと}や加之^{あまつま}
 かろ^かろ^ろり佳人^{かじとん}の真蹟^{まんとせき}をもつ^もつ^つ題^{だい}を烏呼^あ三千^{さんぜん}
 の佳麗^{かみ}ハ此一帙^{いつしち}は存^{ぞん}し五町^{ごちやう}ハ全盛^{ぜんせい}ハ偏^{ひん}み筆端^{ひつたん}
 より生^うま^ま爰^{こゝ}に漏^もれ^れ楚腰^{そよう}越^こ艶^{えん}ハ追^おく^く貌^{ぼう}
 自筆^{じひつ}と需^{もち}け^けつ^つ梅梨^{ばいり}を壽^{じゆ}を^を今此^{いまこゝ}蟬^{せみ}
 鬢^{びん}と人^{ひと}猶^{なほ}後^{のち}に鴉^あ黄^{わう}を待^{まち}ふ心^{こころ}と和^やけ
 給^{たま}ふ^ふ

朱樂館主人題

畫工

北尾萍齋政演



書林

江戸通油町南側

耕書堂蔦屋重三郎梓



新美人合自筆鏡 1帖 WA32-6 00-011

国立国会図書館

